

# 令和4年度 10月 2学年進路ガイダンス 大学進学者説明会

八丈高校 進路指導部

1

## お知らせ

- TEAMSに「R04 2学年進路ガイダンス（大学）」チームができました。確認を！！
- フロムページ主催「夢ナビ」の活用を！
- 受験校決定PERFECT BOOK配布

2

## 今回のテーマ 「志望校の決定はいまあ！」

- なぜなら……
- ⇒ベネッセのデータでは志望校の決定が早ければ早いほど**第一志望の合格率が高い**。
- 今の受験は非常に複雑。自分が行きたい大学でなおかつ受験方法が自分に合っていて、倍率が適正で、受験日程が被っていない大学を選ばなくてはならない。
- ⇒合格のコツは「**自分に合った大学を選ぶこと**」

3

## 推薦入試スケジュール

2023年9月初旬 推薦入試校内選考  
9月中旬 校内の推薦会議  
9月中旬 推薦入試出願開始  
9月下旬 総合型選抜試験開始  
11月初旬 学校推薦・指定校試験開始  
推薦入試合格発表開始

4

## 一般入試スケジュール

- 2024年1月初旬 私立大学出願開始
- 1月中旬 大学入学共通テスト
- 2月初旬 私立大学試験開始
- 私立大学合格発表
- 国公立大学2次試験(前期)
- 3月初旬 国公立大学合格発表(前期)
- 3月中旬 国公立大学2次試験(後期)
- 3月下旬 国公立大学合格発表(後期)

5

まだ時間あるじゃん……

- あくまで入試が始まるのはまだ先ですが
- 受験勉強を始めるには少し遅い時期にはなっています！！！！
- ⇒ **すぐに準備を始めましょう！！**

6

今回のテーマ  
「志望校の決定はいまああ！」

- 受験の種類について
- 今後の受験スケジュール
- 学校推薦の基準について

7

### 推薦入試の種類

- ◆ 総合型選抜(9～10月ごろ)
  - ・成績や出欠席よりも本人の能力が求められる入試
  - ・**学校長の推薦が基本的に不要**
- ◆ 学校推薦型選抜(指定校型・10～11月)
  - ・本校を指定校にしている大学の提示する成績や出欠席などの要件を満たした生徒が受ける入試
  - ・**学校長の推薦が必要**
  - ・指定校推薦は入学後の成績が高校側に報告される。
- ◆ 学校推薦型選抜(公募型・10～12月)
  - ・成績や出欠席と本人の能力が求められる入試
  - ・**学校長の推薦が必要**

8

## 推薦入試志望の方へ

10月 志望校の決定・分析

11月初旬 志望理由書を書く

(志望理由・高校で頑張ったこと・大学・将来頑張りたいことを書いてみる。)

11月～ **志望理由・入試に必要な実績作り(重要)**

(例:八文学、外部資格試験、コンテスト、ボランティア活動)

4月～ 試験対策

(例:出願書類練習、小論文、面接、レポートなど)

8月 出願書類の完成

9月～ 試験対策の最終確認

(例:できるだけ多くの人に面接練習してもらうなど)

9

## 推薦入試志望のポイント

・自分だけのアピールポイントを探す・獲得する!!!

⇒外部での実績を重要視。アピールポイントを得る過程で感じたこと・課題解決したことを常に考える。

・合格基準はない。やりすぎなくらい準備をする。

⇒推薦入試は「受験者20人⇒合格者10人」程度。しかし、合格ラインの10人が全員が開成高校出身でコンテスト優勝者だった場合、不合格になる。

⇒小論文添削100回、ボランティア活動2万回。

・一般入試の勉強も一緒にする。

⇒評定平均などできるだけよくする。口頭試問・学力試験が伴う可能性あり。推薦に落ちたら一般入試に回る。

※一般よりも推薦が楽なわけではない。苦労は同じ

10

## 一般入試の種類

### ◆大学入学共通テスト

- ・1月中旬の土日に一度だけ実施(1月14日、15日)
- ・国公立大学を目指す場合は必ず受験
- ・私立の入試にも利用できる

### ◆一般選抜

- ・各大学が設定した日程で、大学・学部・学科ごとの問題が出題される
- ・同じ大学・学部・学科でも日程が異なれば何度も受けられる場合がある。(例:A方式/全学部方式など)

11

## 国公立大学入試

●大学入学共通テスト(1月14日・15日)(受験料18000円)



●二次試験(前期2月25日～、中期3月8日～、後期3月12日～)(受験料17000円)

・二次試験は、前期・中期・後期試験があり、それぞれ受験できる。試験内容や配点は大学ごとに異なる。

・1月下旬に前・中・後期すべてを一気に出願し、すべて異なる大学を受けることが可能。

・前期が最も合格枠が多く、後期は少ない。



●合格発表

前期3月1～10日 中期・後期3月20～24日

12

## 私立大学入試

- ・**大学入学共通テスト利用入試**(受験料18000円)
  - ・受験生たちが滑り止めなどの確保のために利用することが多く、難易度高。
- ・**全学部共通入試**(受験料約20000円)
  - ・各大学が全学部一緒に入試を行う。
  - ・個別日程入試と時期がずれるのでチャンスは増えるが、難易度中。
- ・**個別日程入試(前期日程入試)**(受験料約20000円)
  - ・個別の志望学部ごとに受験できる(2教科・3教科・英検利用など)
  - ・最も合格枠が多い、第一志望の私立を狙うならこの入試。難易度低。
- ・**個別日程入試(後期日程入試)**(受験料約20000円)
  - ・2月下旬～3月下旬に行われる。合格枠は少ないがほかの大学の結果が判明した後も受けられる。

13

## 一般入試志望の方へ(3年夏まで)

10月 志望校の決定・分析

11月初旬 赤本をじっくり解いて分析

(どのような知識が必要か、見通しを立てる。)

11月～3月

- ・1・2年の国語・数学・英語を全部復習(重要)
- ・英単語・数学の公式など基礎知識を覚える。
- ・社会科⇒3年でできない単元をマスター
- ・理科 ⇒理科基礎を完璧にマスター

4月～7月

- ・社会科・理科・数Ⅲをすべて覚えきり、国数理英社を完成させる。

14

## 一般入試志望の方へ(3年夏以降)

8月(夏休み)

国英数理社の基礎知識を完璧にマスターし、苦手をすべて解消する。(重要)

⇒何度も反復して完全に暗記する。

9月～10月

国数理英社の問題演習に取り組む。

⇒どの科目も1冊の問題集を何度もやる。

11月～12月

赤本や予想問題集を解いて、未知の問題を解く練習を何度もする。

1月以降はHONBAN

15

## 一般入試志望のポイント

・計画をゆるく、厳しく立てる。

⇒参考書をページごとに週割し、一週間単位で勉強する。

⇒1日で多くの教科に取り組み、ルーティンを決める。

・志望校に合わせて勉強する。

⇒滑り止めの大学も含めて対策した勉強を進める。配点が高い教科を重視する。

・まずは勉強の『量』を増やす。

⇒受験生は平日4時間、休日10時間が標準です。これを満たしていない場合は難関大学に合格するのは厳しいです。

※第一志望は譲るな！！でも志望校に見合った勉強を！！

16



## 推薦にかかわる評定について

- 評定平均の算出方法(確認事項)  
**入学時から3年生の1学期までの**評定を合計し、科目数で割ったものが評定平均となります。
- 大学によっては全科目の評定平均と合わせて**出願する学部にかかわる教科の平均評定**を出願条件に設定している大学もあるので注意！

17

## もしも1枠しかない推薦枠に 2人応募してしまったら・・・???

- 進路指導部関係校内規定(非公開)によると
- 1 評定平均値
- 2 出欠状況
- 3 学校生活での様子・成果
- ⇒最終的には会議出席教員での協議にて決定

18